



## 実践型インターンシップ推進事業\_事例発表会のご案内

宍粟市・宍粟市商工会・西兵庫信用金庫は三者の包括連携協定を基調とし、地域産業の強化、地域経済の活性化などを推進することを目的に「宍粟市人財力フル活用プラットフォーム推進会議」を立ち上げ、様々な取組みを行っております。その一環として、この夏に実施しました実践型インターンシップ推進事業（「地域ベンチャー留学」※1（裏面））について受け入れ企業㈱フジイ様より事例発表をしていただきます。

つきましては、この取組みにご興味のある方、学生と一緒にプロジェクトに挑戦し、事業促進のきっかけ、経営の強化や改善等を図りたいとお考えの経営者の皆様におかれましては、是非ご参加くださいます様お願い申し上げます。

下記及び裏面をご参照の上、不明点等はお気軽にお問い合わせください。多数のご参加をお待ち申し上げます。

**日時：2月8日（水）18：30～20：00**

**会場：宍粟市防災センター4F 研修室1・2** ※参加人数・感染状況によって変更する場合があります。

**内容：1. 実践型インターンシップの事業説明**

**2. 受け入れ企業による事例発表**

令和4年度学生受入れ企業：



**株式会社フジイ**

(1)取組み内容及び成果

(2)受け入れによるメリット・デメリット など

**3. 令和5年度受入の募集**

<お申し込み・お問い合わせ>

申込は、Web 又は下記に必要事項を記入の上、FAX してください。Web からの申込は <https://logoform.jp/f/FBEu6> 又は次の QR コードからアクセスください。



**締切：12月20日（火）まで ※参加無料**

事例発表会参加申込書（切らずにそのまま FAX してください）

**事業所名：**

**参加者氏名(2名まで)：**

**連絡先(E-mail)：**

**(電話番号)**

申込・問合せ先：宍粟市産業部商工観光課商工係

Tel：0790-63-3127 Fax：0790-63-1282 E-mail：shoko-kk@city.shiso.lg.jp

主催：宍粟市人財力フル活用プラットフォーム推進会議（宍粟市・宍粟市商工会・西兵庫信用金庫）

# 地域ベンチャー留学とは (※1)

「地域ベンチャー留学」は、当会が学生の募集やマッチングの際に活用している NPO 法人 ETIC.の事業名称です。経営者の皆様が「やってみたい、試してみたいけど、手が付けられていない」など事業の未来に新たな方向性を見出す可能性を秘めた**本気のプロジェクト**を、夏休み期間の約1か月間にわたり、**若者(大学生)と一緒に挑戦する**取り組みです。

その他実施されている、又は考えられる挑戦(プロジェクト)の一例：

販売戦略・商品開発プロジェクト、職場環境の改善・従業員満足度の向上などの提案、企業の魅力を SNS で発信プロジェクト など

★参考ホームページ：地域ベンチャー留学

<https://cvr.etic.or.jp>



★参考ホームページ：プロジェクト一覧

<https://cvr.etic.or.jp/project/>



2022/9/1 神戸新聞掲載

(第3種郵便物認可)

神戸新聞

2022年(令和4年)9月1日 木曜日

広域B わがまち 20

## 宍粟新聞

### 家具メーカー「フジイ」

「加工のやさしさはフキよりもスギの方が良いと思います。8月15日午後、フジイの工場に隣接する打ち合わせスペースで、新商品開発に向けた議論が交わされていた。社長と副社長らに対し、物おしせずに意見を述べた様子も大学生は見えない。

インターンシップを訪れているのは、北九州市立大学の甲斐翔太郎さん(19)と大塚出典さん(経済学専攻)と甲斐さんは新商品のマーケティング振興のために来社した。8月16日から9月16日まで同社の製品製造工程を学びながら、チーム向けのワークショップを体験し、販売まで担当。

甲斐さんは社員とともに、神戸や大阪の大型家具店を訪ね、売れ筋商品を調べて提案を提示、話し合いの結果、大塚

#### 北九州市立大の甲斐さん1か月間住み込み

産入を使った写真立に決まった。外枠は内枠があり、写真を入れる内枠はくるくる回る仕組みだ。

これまで、板の長さを調整したり、内枠を外枠をつなげる部分の道具を研究したり、何をどう使うかを試み、何を自問するかの。大学生の仕事に密着した。

(村上真宏)

## 就業体験失敗から学ぶ

宍粟市山崎町下牧谷の家具メーカー「フジイ」で、県外の男子大学生がインターンシップ(就業体験)に励んでいる。市や商工会、西尾信用金庫とくくる「人材財力フル活用プラットフォーム推進会議」の事業として、東京のNPO法人を介して学生を募集。約1カ月前、市内に住み、新商品の企画から設計、製作、販売に至るまで一連の工程に挑戦する。緑もゆかりもない宍粟で何を学び、何を自問するかの。大学生の仕事に密着した。

(村上真宏)



▲宍粟市の家具メーカーにインターンシップ中の甲斐翔太郎さん(いずれも宍粟市山崎町下牧谷)

### 「新しい風」従業員に刺激

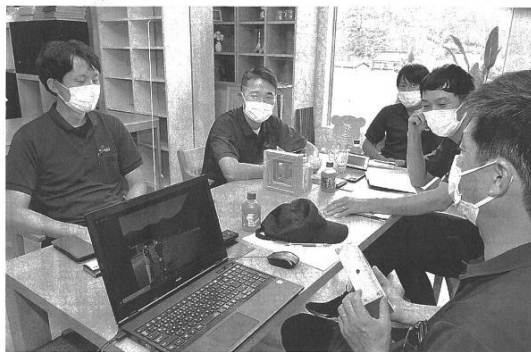
「インターンシップの 同社は1946年創業、ターネットの直販も開始し受け入れて、従業員たちも 刺戟を受けている。北に製造し、現在は39人が働九州市立大1年の甲斐く。2006年、1号機として、若い世代の新しい風が、社内にもたらす効果に期待を寄せる。従業員が甲斐さんとともに2年前に藤井一雅社長(41)は、こう語る。井さんが社長に就き、イン

藤井一雅社長

藤井社長は「会社が成長するには自主性が大事。甲斐さんのインターンシップを受け入れたことで、これまで破り、自主性を備える社員が増えてほしい」と話した。

改良を重ねた木製写真立ての試作品

### 新商品開発など通じ自身を成長



新商品の開発に向けて社員と意見交換する甲斐翔太郎さん(左から2人目)

9月の在体験会に向け、小学生たちにも楽しんでもらおうと、マスキングテープやカラスタイルの色を用いた飾り付けのアイデアを募集。「ガラスはきれいだけど、木材の質感が隠れる」との指摘を受け、引き続き検討することになった。約2時間半の作業が終わった。この日の業務は終了。蒸暑い工場内の作業で、甲斐さんの顔には汗が浮かぶ。それでも完成に近づいている手応えを感じたのか、表情は明るい。

なぜ、インターンシップに参加するのか。その問いに甲斐さんは「成功よりも失敗をたくさん経験したい」と答える。「学生の内に今の自分を知ることが、足りない所を学ぶこと」と柔軟な言葉を添える。

「フジイの技術力を平等に、ともに、共業の良さも学びたい。新商品にしたい」と意気込んでいる。

少しでも興味があればぜひ発表会にご参加ください。